

水沢高校及川選手が全国優勝

～ 2013 全国高等学校総合体育大会 ～



賞状を手にする水沢高校ウエイトリフティング部の及川選手（左）と千葉選手

7月28日から8月20日まで、長崎県などで全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が開催されました。ウエイトリフティング競技では、本県代表で出場した水沢高校ウエイトリフティング部が、全国の舞台で堂々の躍進。及川佳将選手（水沢高校3年・写真左）は、56㌔級に出場し、優勝という快挙を達成しました。また、千葉健介選手（水沢高校3年・写真右）は53㌔級に出場し、4位入賞を果たしました。及川選手は、スナックで2位、クリーン&ジャークでも3位と、3つのメダルを獲得しました。さらに、水沢高校は出場4選手の合計得点が、出場137校中5位となり、学校対抗でも入賞し、総合力の高さを見せました。及川選手、千葉選手は共に「ご指導いただいた皆様をはじめ、支えてくれたたくさんの人に感謝したい」と語っていました。

このほか、市内の高校から出場した選手では、ウエイトリフティング競技で、菊池莉宗選手（岩谷堂高校3年）が、62㌔級クリーン&ジャークで4位に入賞。ボクシング競技に出場した及川雅人選手（水沢工業高校3年）はピン級で5位の成績を収めました。

奥州球児が大活躍

ー花巻東高校が甲子園ベスト4ー

ことし、岩手の夏を熱くしたのは、花巻東高校野球部といっても過言ではありません。

第95回全国高等学校野球選手権大会で並みいる強豪を相手に勝利を重ねました。準決勝では、宮崎県代表の延岡学園高校に惜しくも敗れましたが、県勢として、そして同校としても4年ぶりのベスト4という輝かしい成績を残しました。

そのナインの中で、ひときわ攻守に輝きを見せた球児はショート・茂木選手とセンター・千葉選手の市内中学校出身の2人。甲子園で大活躍をした2人に今大会を振り返ってもらいました。



全国高等学校野球選手権大会ベスト4 花巻東高校

千葉 翔太 選手
（南都田中出身・3年）

茂木 和太 選手
（水沢南中出身・2年）

夏の甲子園では、目の前の試合に全力を尽くすことだけを考えていました。甲子園で印象に残っている試合は、準々決勝の済美高校戦。春の選抜大会で準優勝した好投手・安樂投手を相手に部員全員の力を結集して勝てたことがうれしいです。これは、一つ一つの試合に全力でぶつかっていった成果。また、応援してくれた奥州市の皆さんやたくさんの人に支えられました。

甲子園では、ベンチに入っていない部員の分まで全力で頑張りました。準々決勝の済美高校戦で、激闘を制したことが一番の思い出。僕たちの前評判は決して高くなかったと思いますが、全国に花巻東をアピールできたことがうれしい。練習でも手を抜かず、常に試合を意識してきたことが、全国ベスト4という結果に繋がりました。応援してくれた全ての人に感謝したいです。

小中学生も全国大会で活躍

全国中学校体育大会

県中学校総合体育大会や同東北大会などで優秀な成績を収め、全国中学校体育大会（全中）に出場した選手を紹介しします。

サッカー競技に、東水沢中学校サッカー部（写真①）が出場し、堂々のベスト8という好成績を収めました。ソフトテニス競技（男子個人戦）で出場した前沢中学校ソフトテニス部（写真②）は、初戦

全国小学生陸上競技交流大会

小学生陸上競技交流大会県大会において、男子走り幅跳び競技で優勝した水沢小学校6年・千葉晃誠選手（写真④）。県代表で出場した全国大会でも7位と健闘しました。



①東水沢中サッカー部の青沼聡主将（左）・福原健史郎部長
②前沢中ソフトテニス部の菅原寛汰選手（左）・及川太希選手
③江刺第一中柔道部・佐藤瑠夏選手 ④全国小学生陸上競技交流大会に出場した水沢小・千葉晃誠選手